

ロゴマーク決まる

野球独立リーグ 田辺の新チーム

来春から野球独立リーグを表明している田辺市のチー
「ベースボール・ファースト」和歌山ファイティングバ
リーグ」(BFL)への参入「ズ」のロゴマークとマスコ

ットが11日、決まった。「闘
鶏」をイメージしたという。
BFLには現在、近畿地方
の3チームが加盟。和歌山フ
アイティングバースは、大塔
交通社(田辺市鮎川)の谷口
弘社長が理事長を務める団体
「ANFUTURE」が運営
する。11月にトライアウトで

メンバーを選び、田辺スポー
ツパークと上富田スポーツセ
ンターの野球場をホームグラ
ウンドにする。

ロゴマークは田辺市の闘雞
神社にちなみ、バットとゲー
ープを持つニワトリのキャラ
クターをあしらった。力強さ
とグラウンドでのしなやかな
動きをイメージした。えんじ
と金色がチームカラーにな
る。田辺市中辺路町近露の雑
貨メーカー「ゼネラルステッ
カー」がデザインした。

西アフリカ選抜が来県

27～31日に交流試合

和歌山ファイティングバ
ズの関係者らが27～31日、田
辺市と上富田町で、世界最貧
国といわれるブルキナファソ
など西アフリカの選抜野球チ
ームを招いて交流試合をす
る。

北海道富良野市の「ブルキ
ナファソ野球を応援する会」
が主催し、ANFUTURE
と国際協力機構(JICA)
の共催。紀伊民報など後援。
2020年の東京オリンピック
で野球競技が復活すること
を念頭に、西アフリカの選手
を強化育成することが目的。
アフリカで野球する人を増や
し、貧困や犯罪率の改善にも
つなげたいという。

西アフリカ選抜は、7カ国
の選手12人とコーチ2人が6
月中旬に来日。7月18日まで
北海道で、19日からは四国で
地元野球チームと交流する。
26日に来県し、和歌山市の県
立医科大学でアフリカ選手が



和歌山ファイティングバースのロゴマーク

体力測定やトレーニング指導
を受ける。
27～31日は田辺スポーツパ
ークと上富田スポーツセンタ
ーの各野球場で、田辺・西牟
婁の硬式野球愛好者でつくる
「和歌山ファイティングバ
ズゼロ」、独立リーグ球団の
育成チームやOBチーム、独
立リーグのチームを指導して
いる元プロ野球選手のチーム
と試合をする。各試合は入場
料千円(高校生以下無料)が
必要。各会場では和歌山ファ
イティングバースのマスコッ
トの名称を公募する。

西アフリカ選抜の試合日程
は次の通り。かっこ内は対戦
相手。
27日 午後6時、田辺(和
歌山ファイティングバースゼ
ロ)▽28日 午前11時、上富
田(兵庫ブルーサンターズ育
成軍)▽29日 午前11時、上
富田(同)▽30日 午前11時、
上富田(兵庫ブルーサンター

ズOB)▽31日 午前10時半、
上富田(プロ野球OB)
問い合わせは、兵庫ブルー
サンターズ球団代表でANF
UTURE理事の高下沢さん
(090・8999・414
6)へ。